

第16回健康セミナー 『乳がん、 早期発見のために』



日程：2013年 6月15日(土)

時間：14:00～15:30 (受付：13:00～)

『乳がんの進行を最小限に抑えるために』

乳がんになるとどのような問題が発生するのか？一般的には、手術による乳房の変形、知覚障害などによる機能障害、術後の抗がん剤などの副作用による障害、いったん再発を起せば生存が脅かされる、治療に時間や費用がかかり生活に大きな支障をきたす、などが考えられます。

乳がんは、欧米ではすでに1990年代から死亡者数は減少に転じていますが、日本においては、いまだ発生数や死亡者数は増加しています。治療法に関しては世界的に共通のガイドラインに準拠して行われているため、大きな違いはありません。では、予防法が確立していない現在、何が異なるのか？それは検診受診率が大きな違いと考えられています。

今回のセミナーでは、最新の検診や治療法、当院で行っている短期入院が必要な全身麻酔による手術や局所麻酔による日帰り手術、最小皮膚切開による oncoplastic surgery (乳房の整容性を重視する手術) に関して解説いたします。

場 所：国際医療福祉大学三田病院 11F 三田ホール

講 師：内田 恵博 医師

【乳腺センター長／国際医療福祉大学教授】

定 員：250名

※どなたでも無料でご参加いただけます。

※セミナー終了後、けんこう体操を行います (自由参加)。

■ 参加ご希望の方は、お電話でお申込みください。

TEL. 03-3451-8123 (総務企画課) *受付時間 月～土曜日 8:30～17:30



内田 恵博 医師



国際医療福祉大学三田病院

〒108-8329 東京都港区三田 1-4-3 TEL. 03-3451-8123